

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヒーローズきっず八王子教室東		
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日(水)		～ 令和7年11月19日(土)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	令和7年11月19日(水)		～ 令和7年11月19日(土)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内研修によるお子様の特性理解の機会を促している。	会社全体で行われる研修だけではなく、発達障がいの特徴を基礎的に取り上げた内容を支援研修と言う形で会議にて取り上げている。	会議でのスケジュールを見直し、支援研修の機会を拡充していきたい。また、支援研修自体の内容を見直し、基礎編～応用編に分けた簡易的な研修を取り入れていきたい。
2	園訪問や関係機関との連携を通して、支援内容の共有の機会を設けている。	お子様の通っている園への定期的な訪問を実施することで、園でのお子様のご様子を実際に見たり、園との情報共有を行っている。また、必要に応じて関係機関との連携を行い、同様に支援の情報共有を行っている。	定期的な園訪問としては、期間が浅いため、今後も引き続き園への訪問の機会を設けていきたい。
3	お子様の様子を随時振り返り、支援の向上を図っている。	療育時間の合間や終礼時、会議の時間にてお子様のご様子を振り返り、支援共有と振り返りの時間を設けている。	お子様のご様子の振り返りに加え、令和8年4月よりプログラム内容が変わるため、プログラムの妥当性検討も視野に入れたうえで支援の振り返りを行ってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れに際して、異年齢のお子様を柔軟に受け入れられる体制が整えられていない。	一定のプログラムが確立している一方で、異年齢のお子様の受け入れを想定したプログラム作成までに至っていない。	令和8年度より、これまでのプログラム別内容を見直す。また、異年齢のお子様の受け入れにも対応可能にするため、プログラム全体での対応策を都度講じていく。
2	避難訓練・感染症予防まん延防止に関する取り組みやその研修の有無について、保護者への周知が浅い。	各種訓練・研修は事業所内では行われている一方、『いつ』『どの訓練・研修』が行われているかが、ご利用者様から見て不明瞭である。	事業所の『安全計画』『年間の研修等計画』を年度初めに一斉LINEにて周知する。
3	保護者様からの自己評価アンケートへの意識が、従業員に浸透していない。	保護者様・従業員からの自己評価アンケートの結果を会議にて周知している一方で、『どこで公開されているのか』『全体的にどのような評価がなされているのか(詳細)』を明確に周知しきれていない。	事業所内会議での自己評価アンケート周知にあたって、アンケート全体を周知をしたうえで、改善策の検討を行う。また、公開先(ヒーローズきっずHP)を周知することで、保護者様への公開がなされていることを伝え、対応改善の意識づけをしていく。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 ヒーローズきつず八王子教室東

対象人数(保護者)49人 回答者数 40人 回収 81.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39			1	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	9		1	職員の方の体調不良で閉所になったときが何回かあったので、人数がギリギリで運営されてるのかなと少し心配になりました。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2	1	5	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37		1	2	
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	7	1	1	できないことや困りごとがあるから通っているにも関わらず、フィードバックの際にはできなかったことやその日の困ったことを共有される。それを聞いていると良い関わりをしてもらえてないのかなと不安になる。(そう感じる方は1名ですが。)
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	3		4	
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35	4		1	
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	2		6	
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2		3	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	7	3	3	
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	4	8	5	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38			2	
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	1			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	9	13	7月から通所し始めて、今のところそのような機会はないため。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	7	1	1	
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2	2	3	
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	3	2	2	対応できる職員の数が少ないように感じる。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	16	13	7月から通所し始めて、今のところそのような機会はないため。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4	3	7	
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	3	1	3	
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	7	2	7	
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	2		4		
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	4	1	7	
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	1	18	
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	4	1	9	
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2		8	
満足度	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	37	2		1	
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	4		1	
	㉙ 事業所の支援に満足していますか。	30	8	1	1	まだ通所が浅いのでなんとも言えない。とても温かくご支援していただき、とても感謝しております。ミラーガラス越しでいいので、子供の様子を見れるとありがたいです。

職員向け 児童発達支援評価表

公表日： 11/19 (水) ~11/29 (土)

事業所名：児童発達支援 ヒーローズきっず八王子教室東

対象人数(職員) 7名 / 有効回答数 7名

	設問	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	・スポット利用のみでコマ案内を待機しているお子様がいるため、+1人でも職員の増員を希望。 ・ギリギリの人数で行っているため、人数を増やすべきと考えてます。
	2 職員の配置数は適切であるか	0	2	5	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされるか	4	3	0	
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	5	0	・終礼で個々に話を聞いていく。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	0	
業務改善	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	6	0	・公開先の詳細を回答者が確認できていない。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	1	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	3	0	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	0	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	
適切な支援の提供					

	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	0	
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	3	0	
	22 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	
	23 小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	4	0	
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	1	
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	・当日の様子を送迎時にフィードバックし、適宜相談も受け付けている。
	26 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	4	2	
保護者への説明責任等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	
	28 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	2	0	
	29 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	
	30 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	3	
	31 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	32 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3	3	
	33 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	
	34 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	

	35 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	2	
非常時などの対応	36 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	
	37 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	
	38 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	3	1	
	39 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	3	・該当児童が現状いない。また、食事提供の機会が当事業所にはない。
	40 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	
	42 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	0	